

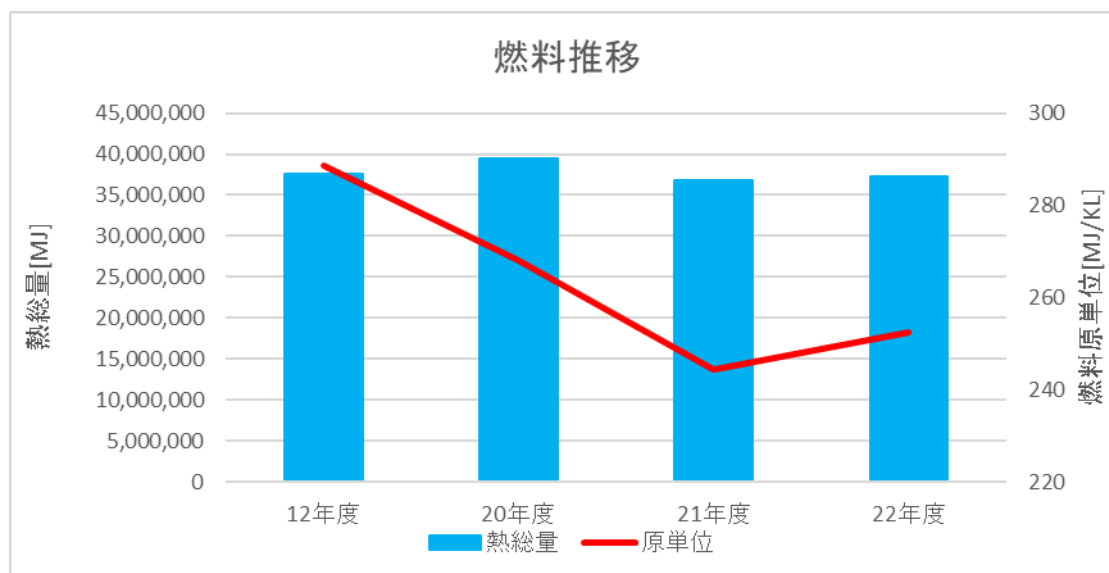
## ① 令和4年度の重点取組目標・計画の実施状況

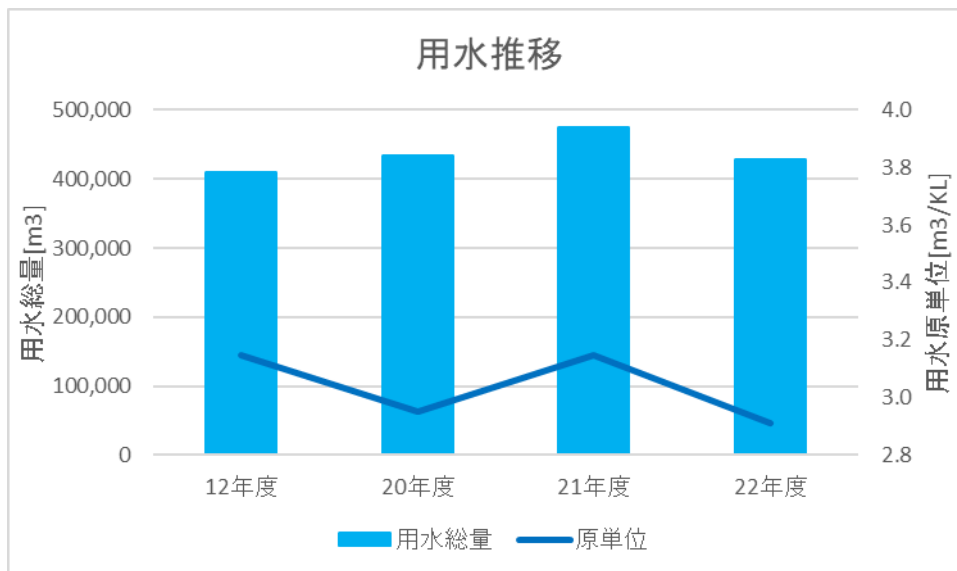
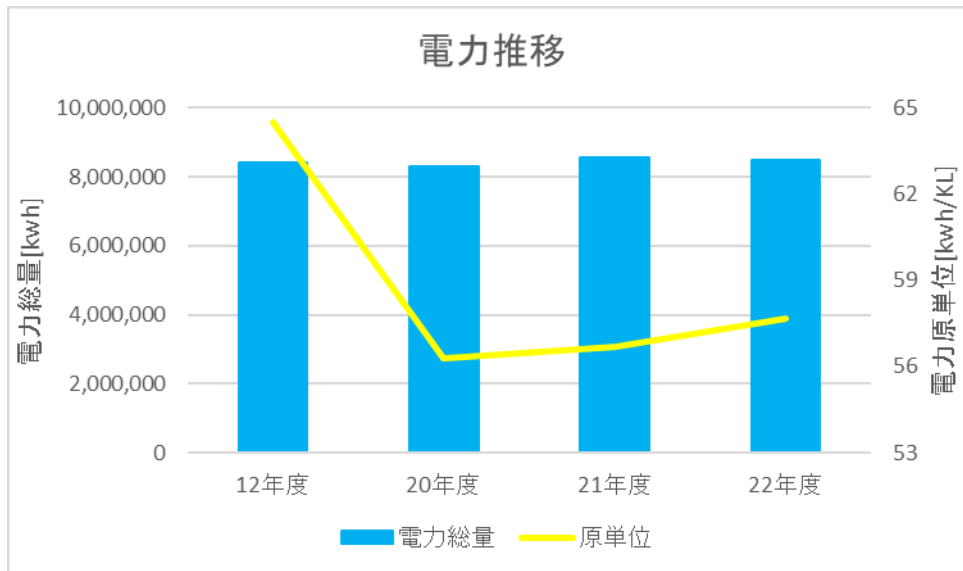
当工場では、エネルギー原単位について前年比1%削減を目標に取り組んでおります。  
2022年度は、前年度より燃料使用量が1.0%増加、電力は0.6%削減、用水は9.6%削減しました。  
燃料については製造量減による原単位悪化が原因と考えております。

今後、計画している省エネ施策を着実に実施し、原単位低減の取り組みを進めていきます。

## ●エネルギー使用量・原単位

項目			12年度 (基準)	20年度	21年度	22年度
製造量	総量	KL	130,414	147,136	150,672	147,292
	燃料					
燃料	総量	m3	836,221	915,801	855,176	863,822
	熱総量	MJ	37,629,945	39,436,407	36,825,761	37,198,077
	原単位	MJ/KL	288.5	268.0	244.4	252.5
電力	電力総量	KWh	8,413,733	8,283,750	8,544,316	8,495,995
	原単位	KWh/KL	64.5	56.3	56.7	57.7
用水	用水総量	m3	410,526	433,982	474,470	429,005
	原単位	m3/KL	3.1	2.9	3.1	2.9





## ② 公害防止対策に係る報告

### ア.目標達成状況と目標達成のために講じた措置・対策

	目標項目	目標達成状況	目標達成の為に講じた措置・対策
大気汚染防止対策	<p>◆「大気汚染防止法」、「大気汚染防止法第4条第1項の排出基準に関する条例(兵庫県条例)」及び「環境の保全と創造に関する条例(兵庫県条例)」等の法令の規定を遵守する。</p> <p>◆別表ばい煙発生施設からの排出規制に係る目標値を遵守する。</p>	排出に関わる測定結果が自主目標値内であった。別表にて報告。	◆排ガス処理施設の適正な維持管理に努めるとともに、「排出ガス中のばい煙濃度測定計画」により目標の順守状況を確認した。
水質汚濁防止対策	<p>◆「下水道法」、「神戸市下水道条例」、「水質汚濁防止法」、「瀬戸内海環境保全特別措置法」等の法令の規定を遵守する。</p> <p>◆下水は「下水道法」、「神戸市下水道条例」は、別表に記載する水質に係る管理目標値を遵守する。</p> <p>◆排水は「水質汚濁防止法」、「瀬戸内海環境保全特別措置法」に定める基準を遵守する。</p>	排出に関わる測定結果が法令基準内であった。別表にて報告。	◆排水処理施設の適正な維持管理に努めるとともに、「排水の汚濁状態測定計画」及び「排水の汚濁負荷量の測定計画」に基づき目標値の順守状況を確認した。
騒音防止対策	◆「騒音規制法」及び「環境の保全と創造に関する条例(兵庫県条例)」に定める基準を遵守する。	騒音・振動に関わる測定結果が基準内であった。	「騒音規制法」「振動規制法」及び「環境の保全と創造に関する条例」の規制基準の遵守状況を確認した。
振動防止対策	◆「振動規制法」及び「環境の保全と創造に関する条例(兵庫県条例)」に定める基準を遵守する。		
悪臭防止対策	◆「悪臭防止法」及び「環境の保全と創造に関する条例(兵庫県条例)」に定める基準を遵守する。	臭気に関わる測定結果が基準内であった。	「悪臭防止法」及び「環境の保全と創造に関する条例」の規制基準の遵守状況を確認した。
産業廃棄物対策	<p>◆廃棄物の処理及び清掃に関する法律等の法令の規制を遵守し、廃棄物の適正処理を行う。</p> <p>◆廃棄物の発生量を抑制するとともに、再利用を促進する。</p>	廃棄物に関わる産業廃棄物管理表制度、廃棄物の保管・処理基準を遵守出来た。資材廃棄ロス削減に取り組んだ。	廃棄物に関わる産業廃棄物管理表制度、廃棄物の保管・処理基準の遵守状況を確認した。

イ.当該年度における排出水の汚濁状態測定結果

排水口名:公共下水道			管理目標値	測定値		全測定回数	超過した回数	目標値達成回数	法令基準達成判定
項目				最大値 (pHのみ 最小~最大)	平均				
法令排水基準設定項目	1	水素イオン濃度(pH)	5.8~8.6	6.8~7.5	7.7	12	0	○	○
	2	生物化学的酸素要求量(BOD)	159.2mg/L	19	6.4	12	0	○	○
	3	浮遊物質質量(SS)	49.2mg/L	16	4	12	0	○	○
	4	ノルマルヘキサン抽出物質含有量 動植物油脂類含有量	27.7mg/l	0.3未満	0.3未満	12	0	○	○
	5	ノルマルヘキサン抽出物質含有量 鉱油類含有量	4.5mg/l	0.3未満	0.3未満	12	0	○	○
	6	窒素含有量	56.2mg/l	0.5	0.4	12	0	○	○
	7	炭含有量	14.0mg/l	0.3	0.1	12	0	○	○
	8	沃素消費量	198mg/l	0.0	1未満	12	0	○	○
	9	温度	44.5°C	45.0	25.9	12	1	×	○

単位はpHを除き、mg/l

○ 達成    × 未達成

ウ.当該年度における窒素酸化物濃度・ばいじん濃度の測定結果

設備名称	窒素酸化物				煤塵			
	自主目標値	2回測定値 (最大)	2回測定値 (平均)	目標 法令判定	自主目標値	2回測定値 (最大)	2回測定値 (平均)	目標 法令判定
貫流ボイラー1号	135.0	0	#DIV/0!	○	0.09	0.000	0.002未満	○
貫流ボイラー2号	135.0	32	32.0	○	0.09	0.000	0.002未満	○
貫流ボイラー3号	135.0	34	34.0	○	0.09	0.000	0.002未満	○
貫流ボイラー4号	135.0	28	28.0	○	0.09	0.000	0.002未満	○
貫流ボイラー5号	135.0	28	28.0	○	0.09	0.000	0.002未満	○
貫流ボイラー6号	135.0	30	30.0	○	0.09	0.000	0.002未満	○
貫流ボイラー7号	135.0	31	31.0	○	0.09	0.000	0.002未満	○

③ 地球温暖化対策に係る報告

ア.当該年度における電気・燃料等の使用量、温室効果ガス排出量

活動区分	燃料・焼却物等の種類	使用量等	単位	単位発熱量	排出係数	排出量	温暖化係数	合計
				(MJ/Nm3)	kg-CO2/MJ	kg-CO2	CO2	(CO2換算)
燃料の使用	原料炭		kg	28.9	0.0867			
	一般炭		kg	26.6	0.0906			
	A重油		L	39.1	0.0693			
	B重油		L	40.4	0.0705			
	C重油		L	41.7	0.0716			
	LPG		kg	50.2	0.0598			
	都市ガス	826,624	Nm3	45.0	0.04986666666666667	1,854,944	1	1,854,944
その他(廃棄物等)		kg	42.3	0.0762				
電気事業者から供給された電気の使用	一般電気事業者	8,495,995	kWh		0.299 (kg-CO2/kwh)	2,540,303	1	2,540,303
熱供給事業者から供給された熱の利用			MJ					
合計						4,395,247		4,395,247

※排出係数は「環境の保全と創造に関する条例」に基づく特定排出物質排出抑制結果報告書の排出係数 0.04986666666666667(kg-CO2/MJ)、0.2990(kg-CO2/ kWh)を採用

イ.当該年度の計画達成状況

温室効果ガス	削減目標		排出量		削減率	
	21年度	22年度	基準年度(12年度)	22年度	基準年度比 22年度	削減目標比 22年度
CO2	4,465,817	4,421,159	4,888,596	4,395,247	10.1%	1.6%
CH4						
CO						
HFC						
PFC						
SF6						
合計	4,465,817	4,421,159	4,888,596	4,395,247	10.1%	1.6%

ウ.目標達成のために講じた措置・対策の達成状況

	分野	項目	細目	目標	実施状況
1	エネルギー使用の合理化	電力使用量の削減	高圧コンプレッサ内製機連動停止	11月開始	11月より運用
2	エネルギー使用の合理化	燃料使用量の削減	充填機エアフィルター-SIP 時無菌水動作変更	12月開始	12月より運用

④ 公害防止対策、地球温暖化対策以外の環境保全活動に係る報告

2021年度の環境保全活動に係る具体的実施内容

	分野	項目	細目	目標	実施状況
1	事業所等での節水	節水	啓蒙活動実施	・前年比1%減	・前年比9.3%増
2	廃棄物の適正処理・減量	分別回収(缶、PETなどの分別)	啓蒙活動実施	・徹底	・実施率100%
		ミスコピー用紙の再利用	啓蒙活動実施	・徹底	・概ね実施
3	自動車対策	エコドライブ・アイドリングストップの推進	物流担当部での呼び掛け	・徹底	・掲示により 常時表示実施中
4	地域社会への参画	地域の清掃活動への参加	地域貢献活動積極参加	・1回/半年を継続	・12月実施
		六甲山で開催する市民向け自然観察会(神戸市環境局主催)への協賛と参加	地域貢献活動	・1回/年を継続	・1回/年の協賛
5	環境に配慮した施設整備	緑地の整備	定期的な実施を推進	・維持管理徹底	・1回/2ヶ月実施
6	特定フロン等使用量の削減	特定フロン使用機器の適正管理、処理(回収、廃棄)	四半期毎の所轄範囲の設備状況確認報告	・1回/3ヶ月点検 ・修理や撤去時の適正処理の徹底	・1回/3ヶ月点検実施
7	環境管理システムの充実	ISO14001の全社統合認証取得	明石工場分工場として認証を得て活動中	・認証運用継続	・2016年6月認証以降継続運用中
		内部監査の実施	定期的な監査実施	・1回/年を継続	・12月実施
		環境目的・目標、実施計画の完遂	四半期毎の活動内容確認	・四半期毎に評価	・四半期毎実施